

平成29年度 国語科

教科	国語科	科目	現代文B	単位数	2	年次	3
使用教科書	高等学校現代文B (明治書院)						
副教材等	現代文グレートレーニング 40 (尚文出版) ・ 高校生必修語彙ノート 改訂版 (桐原書店)						

1 担当者からのメッセージ

- ・ 社会人に必要となる「話す・聞く・伝える」能力をさらに伸ばしましょう。
- ・ 文章の要旨や登場人物に託している作者のメッセージを読み取る力を伸ばしましょう。

2 学習の到達目標

- ・ 文章読解を通し、主体的に考え判断する、客観的に理解することができる。
- ・ 目的や場に応じた的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
- ・ 読み取った内容を的確に伝え合うことができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲 ・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 たる 評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙) 定期考査	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、語句調べプリント等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論	教材: 「言葉を理解する」 「宇宙は『上』でも『下』でもない」 ワークシート	○			◎	○	d: 評論文の論理の展開や要旨を的確に読み取る。 抽象的用語、概念を正確に把握し、内容を理解する。また発想の転換で、違う視点から物事を捉えていることに目を向ける。 e: 観念や想像力の世界として人間が「心」を持つことの意味をつかむ。	a: 授業の取り組み姿勢 d: 記述の確認 定期考査 e: 小テスト 語句プリント
	小説	教材: 「山月記」 ワークシート	○			◎	○	a: 漢文調文体の独特な効果を味わう。 d: 登場人物の心情推移を的確に読み取る。	a: 授業の取り組み姿勢 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト 語句プリント
2学期	評論	教材: 「多様性は人間だけのものか」 ワークシート	○			◎	○	a: 「生物多様性」の意味を身近なものとして読み取る。 d: 評論文の論理の展開や要旨を的確に読み取る。	a: 授業の取り組み姿勢 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト 語句プリント
	随想	教材: 「サフラン」 ワークシート	○	○		◎	○	a: 明治期の作品を読み、現代に通じるものの見方を知る。 b: 「物語のモラル」とは何かを話し合う。 d: サフランの姿と「私」の「水をやる」行為との対比をまとめる。	a: 行動の観察 b: テキスト音読 d: 記述の確認 定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	小説	教材: 「博士の愛した数式」 ワークシート	○			◎	○	a: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d: 「私」「ルート」の「博士」に対する心情を読み取る。	a: 授業の取り組み姿勢 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト 語句プリント
3学期	小説	教材: 「マスク」 ワークシート	○ ○			◎	○	a: 「マスク」の象徴的意味と効果をつかもうとしている。 d: 登場人物の心理を受験という状況に即してとらえる。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d, e: 記述の確認及び定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 話す・聞く能力      c: 書く能力  
d: 読む能力      e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。